



学校教育目標：心豊かで自ら学びたくましく生きる子どもの育成

梅雨になってしまいました。幸い今週はあまり降りませんでしたが、これからしばらくはジメジメとしたうっとうしい日々が続きますね。7月には西日本で大雨の恐れがあるという予報も出ています。登下校の際も安全に注意したいものです。

『 五季の国 日本 』



日本には春・夏・秋・冬の四季がありますが、春から夏に移り変わる間にある、高温多湿で雨が多い梅雨の時期を「1つの季節」と認識している人が98パーセントとの調査結果があります。

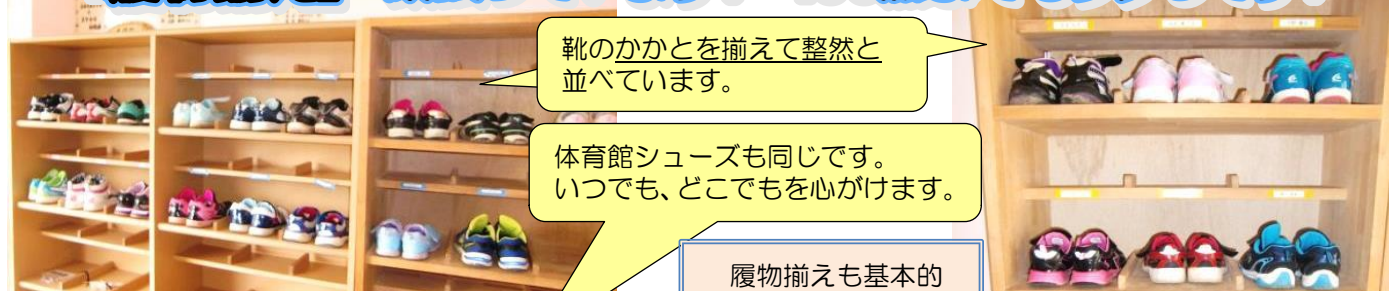
(株式会社ウェザーニューズ 梅雨の季節感調べ)

しかも少し前の調査ですが「梅雨を一つの季節と感ずる割合が多い都道府県ランキング」で、なんと我が長崎県は「5位」だそうです。さすが♪長崎は～今日も～雨だった～♪という歌がある長崎県らしい結果ですね。

もともと、四季折々の気候の移ろいを楽しむ日本人の感性は、雨を楽しむ事により、雨の日の憂鬱な気持ちを克服してきたようです。雨は大昔から、生き物や作物を生かし育ててくれる天の恵みであり、梅雨は命の営みを感じる季節です。また、四季の移り変わりを楽しむ日本人にとっては、美しい情景を作り出す風情に満ちたものでもありました。和歌・俳句に詠まれたり、「五月雨(さみだれ)」、「時雨(しぐれ)」、「村雨(むらさめ)」、「小糠雨(こぬかあめ)」などと、雨をさまざまな名称で呼び親しむ文化も生まれています。

「うっとうしい季節」ではありますが、日本人らしく感性を磨いて雨の風情を楽しみ、この時期の木々の緑や水田の稲のようにグングンと元気よく健やかに育ち伸び続ける子ども達を見守る季節としたいものです。

「履物揃え」頑張っています! 100点までもう少しです!



靴のかかとを揃えて整然と並べています。

体育館シューズも同じです。いつでも、どこでも心をかけます。

履物揃えも基本的な生活習慣、整理整頓、後片付けの一つです。「小事徹底」で徹底して指導し、定着させます。それが子供達の「できる」という自信にもつながります。ご家庭では玄関の靴は並んでいるでしょうか? ぜひ声かけをお願いします。

トイレは、残念ながらまだまだです。この状態では0点ですね。



6年生、さすがです。

入学して2ヶ月。1年生も、立派です。1年生でもここまでできます。最初が肝心です。